

チーム部門

選者 大森静佳氏
小島なお氏

臆病もいつそひかりになればいい春雨サラダの卵みたいに

高田高等学校 一年 高取ゆり

教科書の地図の小さな王朝へ蠅は君主のように降り立つ

高田高等学校 二年 神田実咲

五月雨は恋の類語で野いちごをつんで帰った私とへびは

茨城県立結城第二高等学校 四年 青木春香

雨漏りのバケツを横に一人食うのり弁ののり喉にはりつく

名古屋高等学校 二年 福田 匠翔

プテラノドンの胸の炎を見るようにバスを待つてる、夜が揺れてる

神奈川県立光陵高等学校 二年 猪野田涼奈

冬の日が富士山も澄んでいるねって伸ばしかけた手も見えてないのに

神奈川県立光陵高等学校 一年 藤井綾音

踏切よ下がってくれるな繰り返すカトンの間に君を見つける

神奈川県立光陵高等学校 三年 北原大地

左手の小指に君を座らせて薬指まで歩かせてみる

神奈川県立光陵高等学校 二年 山本未生

君のいる小さな春にさよならと色素の薄い青空を飲む

神奈川県立光陵高等学校 一年 柳原萌々子

「人見知りなのよあの子」と言われても君に寄り添う象でありたい

岡山県立岡山朝日高等学校 二年 平野直太郎

くちびるを小さく開けて寝る君を知らぬ奴らとバスに揺られて

山梨県立甲府第一高等学校 二年 佐野史季

個人部門

選者 大森静佳氏
小島なお氏

一日に二度あるあの青を恋しく思い電気消す

鳥取県立米子西高等学校 三年 本田 呂玖

教室はグクシヤクグクが続くからちよつと一息、わた雲を見る

神奈川県立光陵高等学校 一年 照田 佳苗

目覚めたらあなたを思い出すような青い風吹く夜をください

神奈川県立光陵高等学校 二年 猪野田 涼奈

四捨五入するべきもので溢れてるこれは合法的な夕焼け

神奈川県立光陵高等学校 三年 池野 弘葉

大は小を兼ねると聞いて昨日から地球ごと君を愛し始めた

神奈川県立光陵高等学校 三年 北原 大地

群青の雨は私の一張羅傘を持たずにはたばた歩く

星野高等学校 一年 酒井真結子

生きてると感じておいで雨の日の渋谷で泳いじやっていいから

高田高等学校 二年 神田実咲

新しい朝が嫌いな僕たちを夜の街灯やさしくつなぐ

茨城県立結城第二高等学校 三年 近藤翼

日直は憂鬱だった他全部輝いていた 旧姓の夏

茨城県立結城第二高等学校 四年 青木春香

made in 涙のワックス前髪が靡くまで夜に撫でてもらえ

横浜市立みなと総合高等学校 二年 成澤きらり

ハチマキの額の日焼けよ消えないで 二度とつかぬと知っているから

山形県立致道館高等学校 三年 春山天

個人部門

サンダルは生まれたばかり陽の光水の光に包まれていて

名古屋高等学校 二年 福田 匠翔

モノクロの写真に写るおじいちゃん猟銃よりも小さい背丈

名古屋高等学校 二年 安井 大晴

倒れてる写真立てから匂う潮の香りが私の夏を飾った

岡山県立岡山城東高等学校 二年 曾貝 直希

教科書の最初のページに春風を挟めるように丁寧に折る

宮城県気仙沼高等学校 二年 佐藤 みちる

文化なんてないこの祭りで僕はあなたをおどろかす お化け役B

東京都立千早高等学校 三年 磯部 洋希

僕たちの脳みそにある永遠に手の冷たさを覚える部分

興南高等学校 三年 知念 ひなた

数式を紡ぐ貴方のシャー芯は金剛石よりずっと貴い

上田高等学校 二年 田口 裕唯

背泳ぎで半田ふたつなぞったら手のゆく末は リンクル・リッジ

ID学園高等学校 一年 互井 裕介

コンビニの大きい自動ドアにだけ生きていると認識されてる

滋賀県立膳所高等学校 三年 池田 玲亜

